

第6回多言語競演レシテーション大会

英米学科 熊谷 吉治

中国学科 西野 真由

本学における外国語教育活動の成果を披露する場の一つである「多言語競演レシテーション大会」は、今回で6回目を迎え、県大祭期間中の11月2日(土)にS201教室で開催されました。この催しは、学生が本学で学習中の外国語(留学生の場合は日本語)で文学作品などの一部を暗唱し、学習年数により二つのグループに分かれてパフォーマンスを競い合うものです。聴衆による投票、及び審査委員会による協議で優秀者が選ばれます。今年度は第1部(学習1年目の履修者)に3組、第2部(学習2年目以上の履修者)に10組、計13組が参加しました。また、今年度から新しい試みとして「自由演目」を導入し、歌唱などを伴うパフォーマンスに2組が参加しました。当日は午前10時半から堀一郎外国語学部長の御挨拶で大会の幕を開け、開会直前に行われたくじ引きにより以下の順で素晴らしいレシテーションが披露されました。なお、聴衆の人数(記名された方)は学内93名、一般33名の合計126名でした。

【第1部】

1. フランス語：松井 美希 (まつい みき)、森山 紗耶伽 (もりやま さやか)

[ヨーロッパ学科フランス語圏専攻1年]

演題：“Les Misérables”

2. スペイン語：峯田 真由 (みねだ まゆ) [ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻1年]

演題：<Campos de Castilla> de Antonio Machado, Proverbios y cantares(fragmentos)

3. 中国語：アング クリステル ジョイ、久野 綾子 (くの あやこ)、

坂本 菖佳 (さかもと あやか)、坂本 桃代 (さかもとももよ) [中国学科1年]

演題：致橡树～クヌギの木へ～

【第2部】

1. スペイン語：小島 大直 (こじま たいち) [ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻2年]

演題：El ingenioso hidalgo don Quijote de la Mancha por Miguel de Cervantes Saavedra, fragmento del Capítulo VII. De la segunda salida de nuestro buen caballero don Quijote de la Mancha

2. 英語：宮城杏奈 (みやぎ あんな) [英米学科2年]

演題：The Night of the Milky Way Train (銀河鉄道の夜)

3.ロシア語：武藤 理奈（むとう りな）[ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年]
演題：Колобок（おだんごぱん）

4.ドイツ語：古賀 もなみ（こが もなみ）、佐久川 カロリーネ（さくがわ かりり
ーね）、森 晶世（もり あきよ）[ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年]
演題：Die Rechenaufgabe（算数の問題）

5.カタルーニャ語：大上 真帆（おおうえ まほ）**、笠原 裕也（かさはら ゆうや）*、
竹内 めい（たけうち めい）**、富久 裕大（とみひさ ゆうだい）*、中村 圭（な
かむら けい）**
* [ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻2年] ** [ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻4年]
演題：Quequètenim?（カタルーニャって、何があるの?）

6.中国語：荒木 むつき（あらき むつき）、市川 真菜（いちかわ まな）、
日野 明日香（ひの あすか）[中国学科1年]
演題：还珠格格

7.英語：渡邊 和歩（わたなべ かずほ）[英米学科2年]
演題：A scientist's fight for peace

8.日本語：リク ウキ [教育福祉学部社会福祉学科4年]
演題：宮沢賢治「雨ニモ負ケズ」

9.フランス語：齊本 周士（さいもと しゅうじ）、林 拓弥（はやし たくや）
[ヨーロッパ学科フランス語圏専攻2年]
演題：L'homme qui plantait des arbres（木を植えた男）

10.英語：田中 拓真（たなか たくま）、馬場 明星（ばば あきとし）
[英米学科1年]
演題：リンカーン大統領のゲティスバーグ演説

以上のパフォーマンスに引き続き、投票が行われました。投票を締め切った後、次の自由演
目の披露に移りました。

1.スペイン語：松尾 英恵（まつお はなえ）[ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻3年]
演題：泣きながら微笑んで-Sonriellorando-

2.ノルウェイ語：古賀 もなみ（こが もなみ）[ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年]
演題：Ja, vi elsker det landet 『我らこの国を愛す』、他

第1部で70名、第2部で66名の投票があり、以下の通り最優秀賞と優秀賞が決定しました。

- 第1部 ■最優秀賞 スペイン語：峯田 真由 [スペイン語圏専攻1年]
■優秀賞 中国語：アングクリステルジョイ、久野 綾子、坂本 菖佳、
坂本 桃代 [中国学科1年]
- 第2部 ■最優秀賞 ロシア語：武藤 理奈 [ドイツ語圏専攻2年]
■優秀賞 中国語：荒木 むつき、市川 真菜、日野 明日香 [中国学科1年]

さらに、審査委員会による協議の結果、以下の通り、特別賞が決定しました。

- 学長賞 英語：田中 拓真、馬場 明星 [英米学科1年]
■外国語学部長賞 カタルーニャ語：大上 真帆**、笠原 裕也*、竹内 めい**、
富久 裕大*、中村 圭** (* [スペイン語圏専攻2年] ** [スペイン語圏専攻4年])

結果発表と表彰の後、鎌倉やよい副学長から御講評を戴き、今大会はつつがなく終了しました。以下、受賞した皆さんの喜びの声を御紹介します。



第1部 最優秀賞(スペイン語)
峯田 真由

最初のうちは覚えたことを正確に最後まで言えることだけが目的で感情とか身振りを使って伝えようとする事をしておらず、とても苦手な分野だったのでとても難しかったです。ただ詩を覚えて言えばいい訳じゃなく、ちゃんと意味を理解して聞く人に伝えなければならぬので自分の言葉で言っているように暗唱できるように頑張りました。パワーポイント用に同じスペイン科の皆が詩と絵を描いてくれて先生にもパワーポイントの作成や暗唱の指導など多くの協力を頂きました。おかげで、スペイン語学習に対するモチベーションもあがったし、人前で発表をするということにも今までより抵抗が無くなりこの大会に出たことで得られるものが多くありました。



第2部 最優秀賞(ロシア語)
武藤 理奈

なじみのない言語でも、聴いているひとに楽しんでもらえるようにと準備してきました。授業でロシア語の独特な音や歌のようなリズムのおもしろさを学んだので、この楽しさを知ってもらえたら嬉しいです。今回参加して、普段なかなか触れることのできない言語を聴くことができ、興味が広がりました。また、自分はこのように恵まれた環境で外国語を学んでいることを実感したので、今後も励んでいきたいと改めて思いました。最後に、いつも丁寧に指導してくださり、準備のアドバイスをくださった半谷先生、アリョーナ先生、ありがとうございました。



第1部 優秀賞(中国語)

アングクリステルジョイ、
久野 綾子、坂本 菖佳、
坂本 桃代(五十音順)

今回、このレシテーション大会で賞を頂けて、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

全員が中国語初学者だったので、夏休み明けから始まった練習では巻き舌音など日本語にはない発音にはメンバー全員がとても苦労しました。しかし、熱心に指導をして下さった張先生のおかげで発音だけでなく、気持ちの込めかたまで学ぶことができました。

私たち四人だけの力では、入賞することはできなかったと思います。何度も何度も私たちの発音を直して下さいました張先生、あらゆるサポートで私たちを支えて下さった中西先生、所作など細かい所まで考えて下さった曲先生や湯先生。他にも多くの中国語学科の先輩や一年生が協力してくれました。本当にありがとうございました。

これからもさらなる上達を目指して中国語の習得に励みたいです。



第2部 優秀賞(中国語)

荒木 むつき、市川 真菜、
日野 明日香(五十音順)

今回、優秀賞をいただけてすごく嬉しく思っています。まず応援してくれた方々、ご指導して下さった先生方ありがとうございました。3人とも中国での滞在経験があり1年生ながら2部への出場ということで不安や緊張もたくさんありましたが満足のいく発表ができたと感じています。中国語の発音やイントネーションだけでなく演技もするというのでどうしたら伝わるか、楽しんでもらえるか考えながら練習をしてきました。努力してきたことが結果となり、中国語を頑張ろうという気持ちが強くなりました。



学長賞(英語)

田中 拓真、馬場 明星

私たちがレシテーション大会に参加したのは、以前実際に大会を見学し、先輩方の堂々と暗唱する姿を見たことがきっかけです。

今回暗唱した大統領演説という演目は、普段使わないような語や表現が多く含まれていて、自然な文章の区切り方やきれいな発音を身につけるのに苦労しました。しかし挑戦するうちに英語の新たな魅力を発見できたと感じています。

大会に参加したことで、私たちは他では得難い経験をすることができました。なにより、学長賞を受賞できたことで自分たちの語学力に自身がつき、今後さらに英語を学び、積極的に使っていきたいという意欲が湧いてきました。今回の受賞を励みとし、たゆみなく語学学習を続けていきたいと思っています。



外国語学部長賞(カタルーニャ語)

大上 真帆、笠原 裕也、
竹内 めい、富久 裕大、中村 圭
(五十音順)

カタルーニャは一般的にはあまり知られていない地域なので、レシテーションではカタルーニャを紹介することになり、改めてカタルーニャについて調べてカタルーニャのいいところをたくさん知ることが出来たので、カタルーニャをさらに好きになりました。

カタルーニャ語は発音が難しい言語ですが、レシテーションに参加するにあたってたくさん練習をして発音が上達したので、とても良い勉強になりました。その結果、外国語学部長賞も頂けたので嬉しいです。



第6回多言語競演レシテーション大会出場のみなさん

今年度の大会は多くの参加者に恵まれ、大変熱気にあふれたものとなりました。今後も学生の参加度合いが高まって、レシテーション大会がより盛んになることを願っています。昨年度に引き続き、学生による司会進行が行われ、大会資料の準備や受付、撮影などの仕事も引き受けてもらったことが円滑な大会運営につながったと思います。なお、このような形で御手伝いをしてくれたのは、高等言語教育研究所が活動支援を行っている学生自主勉強会のメンバーの皆さんたちです。ここに御名前を記すとともにあらためて御礼を申し上げます。

井口 スハイラ(中国学科 3年) 梅澤 美萌里(国際関係学科 3年)
木戸 志緒子(国際関係学科 1年) 都築 和希(国際関係学科 1年)
宮嶋 いづみ(国際関係学科 1年)

さらに、今年度から新しい試みとして『自由演目』が導入されました。歌の披露や詩の朗読などを通して、様々な言語の音声に触れる機会が得られたのと同時に、参加してくれた演者の積極性と堂々とした演技に勇気づけられる思いが致しました。

最後になりますが、本大会開催に向け御協力、御支援をいただいた全ての方々に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

多言語競演レシテーション大会実施要領の概要

- ・暗唱者は、今年度、本学の外国語の授業(全学共通・外国語科目及び外国語学部専門科目)を受講し、その言語を学習している学生とする。
 - ・第1部と第2部に分けて出場者を募る。第1部には当該言語を学習1年目で当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがない学生が、第2部には学習2年目以上の学生が参加できる。英語と日本語は第2部のみの募集とする。第2部についてはレシテーション、ショートドラマなどから選べる。ただし歌唱や楽器演奏等は除く。
 - ・歌唱などを伴う演目の上演を希望する場合は、今年度から導入された『自由演目』にエントリーすること。
 - ・第1部と第2部、それぞれ一言語1件を担当教員が選抜する。ただし英語は3~4件とする。規定時間内で2名以上が一つの作品を演じる場合、1件として参加できる。
 - ・1件につき暗唱時間は3分(移動・準備・片付けを含め5分)とする。その間、関連する写真等を投影する。
 - ・聴衆には暗唱内容の和訳と背景等を書いた印刷物を配布する。
 - ・暗唱度、表現力、映像・印刷物の準備度、仲間力等を総合的に評価し、審査する。
- (以上、本年度の出場希望者募集用ポスターなどに基づく)